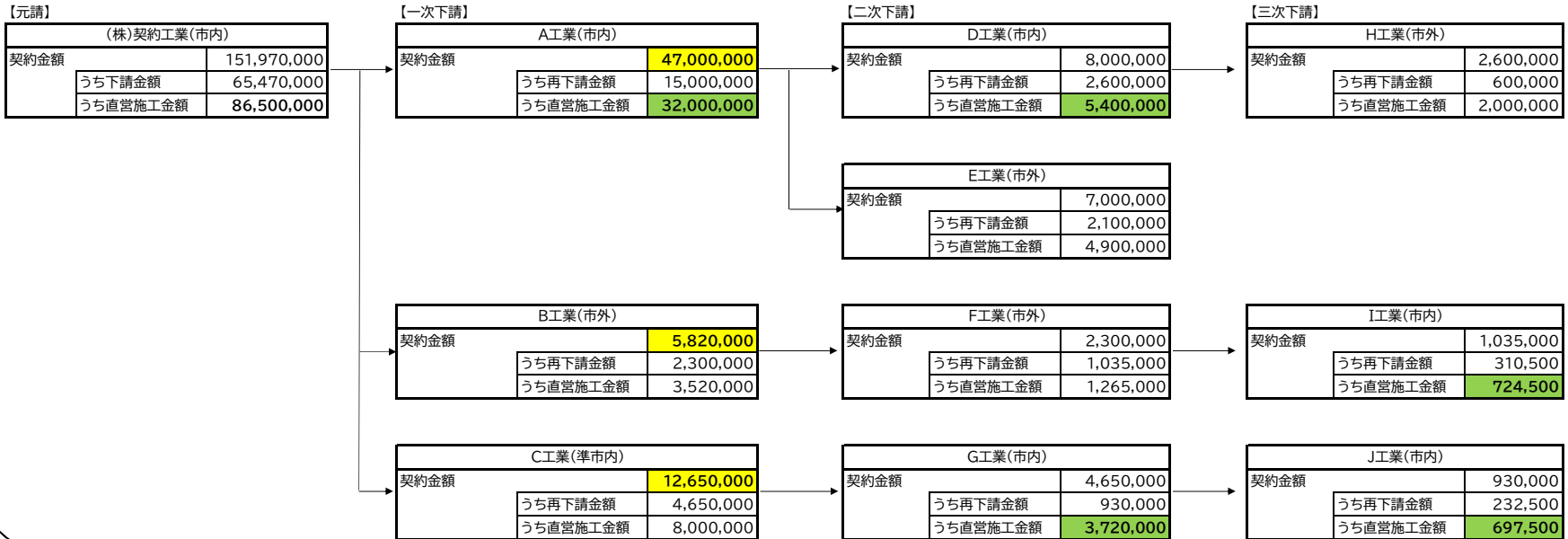


別紙「下請負金額に占める市内業者の施工金額の割合の考え方について」

下記の契約案件例を参考に「下請負金額に占める市内業者の施工金額の割合」を算出してください。

(例)福島市発注の「〇×工事」を(株)契約工業が落札・契約 ➡ 契約金額151,970,000円



●「契約金額」 ➡ 直近上位業者との請負金額(下請金額)

一次下請業者は元請業者からの請負金額、二次下請業者は一次下請業者からの請負金額になります。

●「再下請金額」 ➡ 請負金額のうち、直近下位業者への下請金額

●「直営施工金額」 ➡ 「契約金額」から「再下請金額」を引いた金額

今回の「〇×工事」について、下請負金額に占める市内業者の施工金額の割合は以下のとおり。

$$\frac{\text{市内業者の直営施工金額の合計}}{\text{下請金額(=一次下請業者の契約金額の合計)}} = \frac{42,542,000}{65,470,000} = 64.98\%$$

64%

※小数点以下切り捨て

市内業者の直営施工金額の合計	
A工業	32,000,000
D工業	5,400,000
G工業	3,720,000
I工業	724,500
J工業	697,500
計	42,542,000

一次下請業者の契約金額の合計	
A工業	47,000,000
B工業	5,820,000
C工業	12,650,000
計	65,470,000

下請率算出における注意点

①業者の所在地について

➡「市内業者の直営施工金額の合計」で算出対象となる業者は「福島市内に本店を有する業者」になります。

②下請の範囲について

➡「市内業者の直営施工金額の合計」で算出対象となる業者は「一次下請、二次下請、三次下請」になります。